

# デンタルタイムズ

ニュースレター

第26号

編 植竹美和子

ノーベル賞受賞...?

「みわこっ！急いでっ！  
ガラガラ、ゴトゴト。」

「待ってっ。  
えっ... なっちゃん」

「切符どこに入れるの？」

「あからないっ。」

「とりあえず乗るよ！」

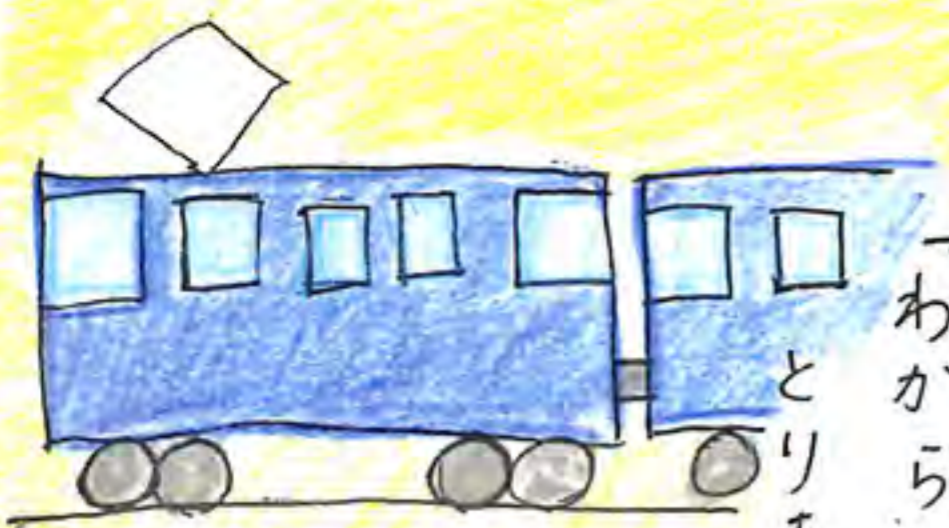
「ポシユー。」

「ふう？」

「間に合った！」

「ガタンゴトン？」

「ガタンゴトン？」



ゴトゴトゴト

私たちは大きな

スーツケースを

転がし、テンション

MAX状態です！

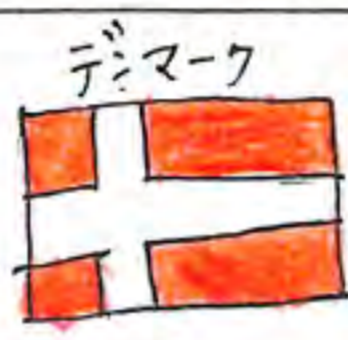
「チケットプリーズ」

「あっ！車中で見せるのね。」

「OK! OK!」

「なんと、私たちは

デンマークの



コペンハーゲンから

スウェーデンの

マルメまで

「世界の車窓から」を

まさに体験している

最中なのです♡

まるで、あの音楽が

聞こえてくるようです♪



スウェーデン



ticket please

人生、「運と縁と多少の努力」と

院長の小島先生から

たたきこまれて

早、10年...

ついに衛生士の憧れの

聖地「スウェーデン」に

私と東雲は無料で

招待されちゃいました！



マリア



例えば、10年ちょっと前、

当時私は高校3年生。

歯科衛生士になるという

夢を持って、若松に

突然バイトの

申し入れをしたのが、

小島先生との

運命の出会いです。



Dental Hygienist

①



ナミチー



歯科  
衛生士  
厚労大臣

「ボキヤブラリーが

少ない！」だの

なんだかんだ

言われ続けたものの

無事に衛生士専門学校を

卒業し、若松歯科に

常勤として勤務を

始めました。

そして

他院とは違

予防スタイルに

困惑しながらも

若松流を信じ続け、

患者さんにも

信頼されるように

なってきた2005年

突然講演の依頼が



舞い込んできたのでした。

私の思い描く衛生士とは

かけ離れたことだったけれど、

何か楽しいことがおこるかも？

と期待しながら

初講演に挑みました。

もちろん

緊張しまくりで

声は震え、言葉は

噛み噛み...

でも講演が終わると

沢山の拍手に達成感が

生まれていました。

それから、歯科界を

変えていこうと

新たな目標をたて

眠い目をこすりながら、



がんばるよー



あー!!

予防



夜中まで、

時には

明け方までの

作戦会議も

しばしばでした。

その後、小学校の歯科健診前

に授業を行うようになり、

2007年から

立花小学校と

瑞木小学校で

理科の実験授業を

ボランティアで

毎年行うように

なりました。

子供のころから、

予防の大切さを伝えたい

そんな気持ちで、

予防



②





今後も、ずっと  
続けていくつもりです。  
そして、2008年からは

歯科業界ビッグイベントの

デンタルショーにて

何度も講演を行い

(新聞第10号参照)

たくさんの方に

若松の予防システムを

知っていたいただきました。

# デンタル ショー

しばらくすると・・・

予防の意識の低い

日本にありながら、

スウェーデンを越える

予防のやり方をしている

おもしろい歯科医院があるという



噂を聞いたスウェーデン在住の

テヘ社専属歯科衛生士

マリア・オディーンさんが、

『是非、見学させて

ほしい!』と突然

若松にやって来たのです。

(新聞12号参照)

さらに噂を聞きつけた

北欧の方々が、何人も

見学に来るようになり、

そのうちの一人が

ヨーロッパの学会で

若松の動画を

紹介したらしく、

若松歯科は、

いつの間にか、



予防歯科先進国が

集まる北欧で

日本一有名な?

歯科医院に・・・♡

マリアは来日の度に

若松に来るようになり、

昨年2012年には

なんと!なんと!

ヨーロッパ

歯科衛生士会会長の

イボンヌ・ニブロムさん

までもが、若松の

見学を希望し、

来日を・・・

いや、来若したのです。

(新聞24号参照)

